



取材・原稿作成

新聞記者

職場ではこんな人も働いています

- 編集（取材記者・整理記者／紙面レイアウトを担当）
- カメラマン ● 販売 ● 広告 ● 事業
- 総合技術職（システムネットワーク・印刷技術）

この仕事のキーワード	こんな人に向いています
新聞	好奇心が旺盛
ニュース	人と話すのが好き
原稿	文章を書くのが得意
インタビュー	体力に自信がある
取材	社会の役に立ちたい
ジャーナリスト	新しい出来事に関心がある



「よりわかりやすく・正確に・早く」、地域のニュースを届けます

地域で起きた出来事を取材し、新聞にのせるための原稿を書いています。新聞は毎日届き、様々な年齢の人が読むので、「よりわかりやすく」「より正確に」「より早く」地域のニュースを伝えることが求められます。そのために、いち早く現場に足を運び、地域に寄り添って取材をし、正しい情報を集めます。新聞はニュースだけを伝えるのではなく、読者を元気づける役割もあり、そのような記事が書けるように心がけています。



大学生の頃、記者になりたいと考え始めました。その時に、野球に熱中していた高校生の頃、結果を出せずに悩む私を勇気づけてくれたのは、ある新聞記事だったことを思い出し、文章を書くことも好きだったので、新聞社に入社しました。

入社 6 年目 西川さん

新聞記者の仕事内容

取材・写真撮影

現場に足を運び、取材対象者に会って話を聞きます。自分の目で見て情報を集め、写真も撮ります。正しい情報を伝えるため、疑問があれば何度も確認します。



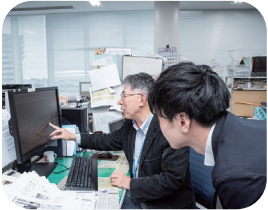
原稿作成

取材した内容に応じて、おおよその文字量を決め、それにもとづいて原稿を書きます。原稿は、取材したその日の締め切りの時間までに仕上げる必要があります。



デスク（責任者）との打ち合わせ

書き上げた原稿は、デスクと呼ばれる責任者に確認してもらいます。他の人が読むことで、気付くことがあり、読者によりわかりやすい記事になります。



締め切り前の最終確認

修正が終わり出来上がった原稿は、整理部が新聞紙面にレイアウトします。締め切り前にレイアウトされた状態で原稿を最終確認し、修正がなければ印刷部に送ります。



必要な資格・スキル

- 普通自動車運転免許
- 必須ではありませんが、持っているとい資格です。

北陸中日新聞（中日新聞北陸本社）

金沢市駅西本町2-12-30 TEL／076-261-3111（代）
創業／1942年 従業員数／2,666人（2024年6月1日現在）
本社・支社／4本社（名古屋、東京、北陸、東海）、岐阜支社、福井支社、大阪営業支社



北陸中日新聞（中日新聞北陸本社）ではこんな仕事をしています



新聞の販売・配達部門

能登半島地震の直後から新聞を読みたい人は増加。販売店のスタッフが一軒一軒、確実に配達することでとても喜ばれています。「地域に寄り添う」という使命感による行動です。



震災・被災地報道

北陸の新聞社として地域の報道に力を入れ、能登半島地震では、地震の発生直後から地域の人たちが復興に向けて取り組む姿までを取材し、伝えています。



イベント企画・立案・開催

展覧会「北斎・広重 大浮世絵展」、落語（中日寄席）、北陸ダンスバトルチャンピオンシップなど、地域の人が笑顔になるイベントを開催します。



新聞の印刷部門

きれいで読みやすい新聞を印刷するため、インクの濃さの調整や、紙面の汚れなどのチェックは欠かせません。時間に追われる毎日ですが、担当者の集中力が求められます。

40を超えるグループ企業・関連団体があります

中日新聞社グループには、新聞発行に関連する企業に加え、中日ドラゴンズやナゴヤドーム、チケット販売など様々な関連団体があります。中日ビルは、高層ビルに生まれ変わり、2024年4月23日から全面開業しています。また、ジブリ作品の世界観を体験できる「ジブリパーク」（愛知県）の運営にも携わっています。



◀中日ドラゴンズのマスコット「ドアラ」
©中日ドラゴンズ